

# 国有林の森林計画のあらまし (網走東部森林計画区)

## (第三次地域管理経営計画)

計画期間：平成18年4月1日～平成23年3月31日



春の雪解けで一時的に姿を現す幻のボンポロ沼

### 【お問い合わせ先】

#### 北海道森林管理局計画部計画課

住所〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

TEL：011-622-5241 FAX：011-614-2652

#### 網走中部森林管理署

住所〒099-1100 常呂郡置戸町字置戸398-99

TEL：0157-52-3011 FAX：0157-52-3014

#### 網走南部森林管理署

住所〒099-3632 斜里郡小清水町字小清水656-3

TEL：0152-62-2211 FAX：0152-62-2213



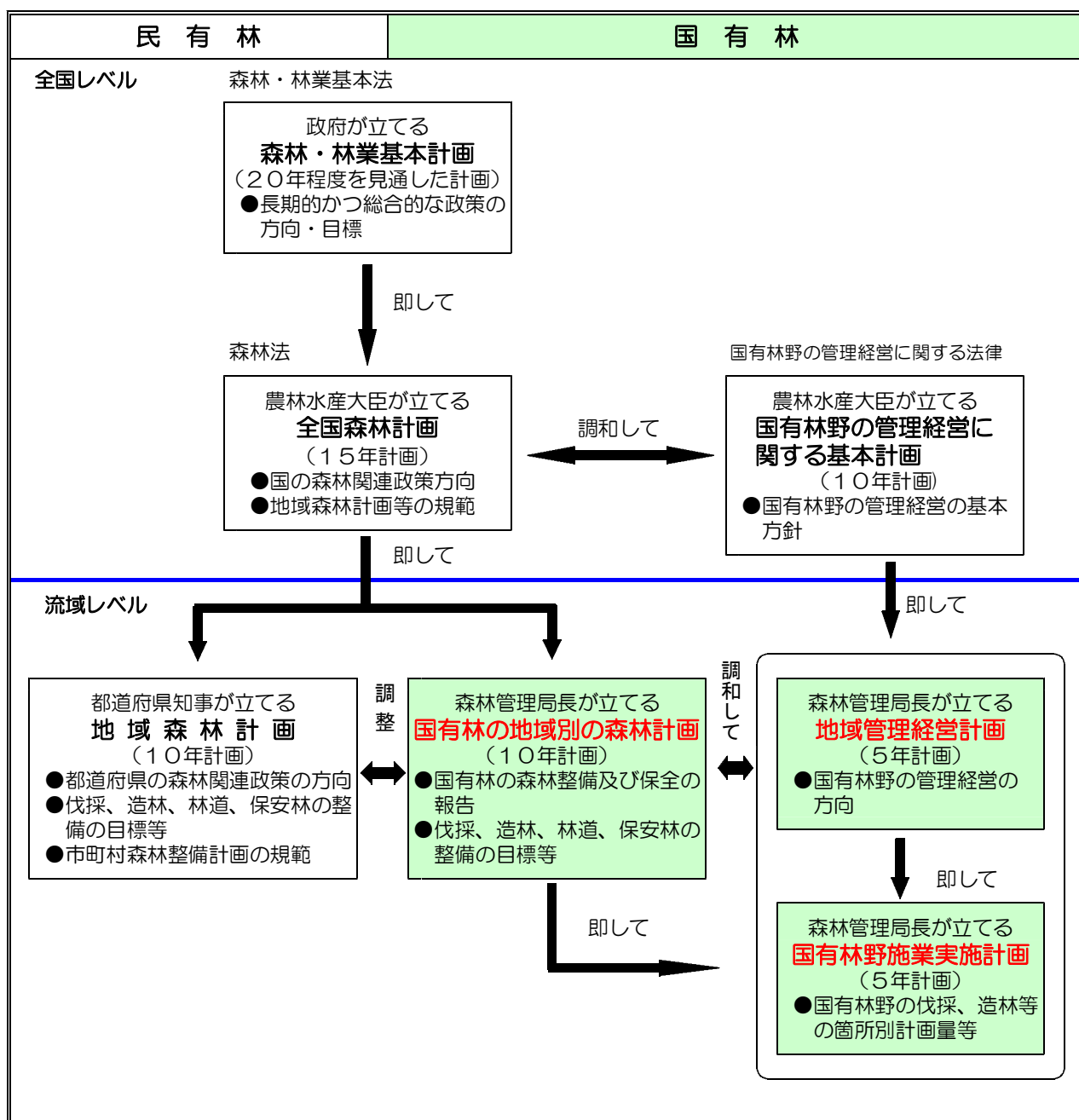
国民の森林・国有林

注:本資料は計画書本体ではなく、計画の概要を取りまとめたものです。

# 国有林の森林計画について

国有林では、「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき、森林のほか、林道やレクリエーション施設、貸地といった土地も含めた国有林野の管理経営の方針などを「地域管理経営計画」として定めています。また同時に、地域管理経営計画に即して、林小班単位で、具体的な伐採や造林の方法、保護林やレクリエーションの森の設定などを「国有林野施業実施計画」として定めています。

これらの計画は、流域ごとに5ヵ年間に一期として定めることとなっており、北海道では13流域（以下「計画区」といいます。）について、5年ごとに策定しています。



## 網走東部森林計画区の概要

網走東部森林計画区の国有林の管理経営は、網走中部森林管理署及び網走南部森林管理署が行っています。本計画区の国有林は、網走市、北見市、大空町、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町の2市9町に広がっており、面積は約24万3千ha（流域総土地面積の41%、流域森林面積の62%）となっています。

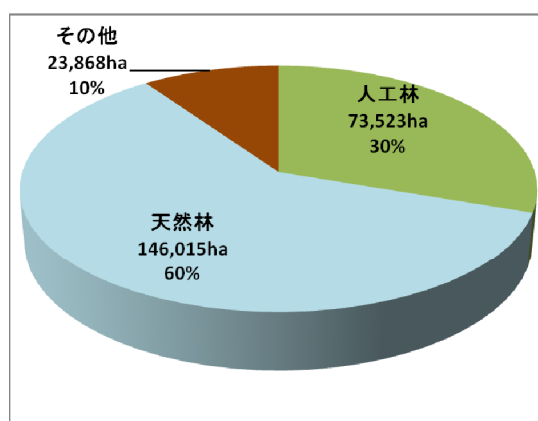


本計画区の国有林は、トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・シナノキ・カンバ類等が混交する天然林が約14万6千haと全体の約6割を占められています。

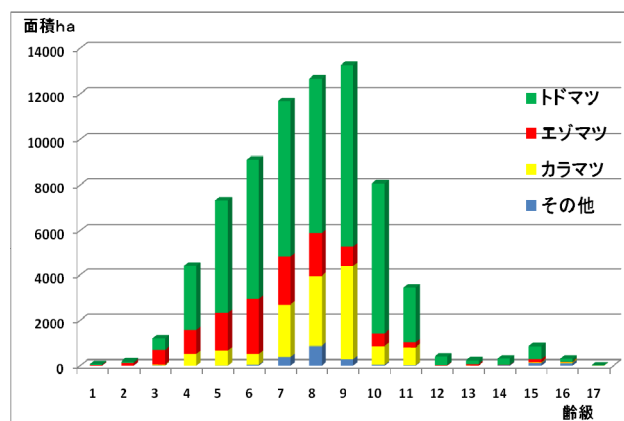
一方、主に昭和30年代以降に造成された人工林は、約7万4千haで、トドマツ・アカエゾマツ・カラマツ等が主な樹種となっています。

なお、人工林の林齢9齢級(林齢41年～45年)がピークとなっており、間伐の必要な箇所が多くなっています。(※齢級は林齢を5年ごとにひとくくりしたもの)

【人工林・天然林別面積】



【人工林の樹種別齢級別面積】



# 地域管理経営計画（網走東部森林計画区）の概要

## 1 基本的考え方

森林に対する国民の要請は、森林の有する公益的機能の発揮、とりわけ地球温暖化の防止や生物多様性の保全等の観点から、地球的規模で森林を持続的に利用管理するという認識が急速に広まるとともに、森林とのふれあいに対する期待が高まるなど、多様化してきています。

本計画では、こうした国民の要請が多様化する中で、各種課題等を踏まえ、①国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、②林産物を持続的かつ計画的に供給し、③国有林野の活用によりその所在する地域の産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目標として、「国民の森林」として管理経営を行っていくこととしています。

具体的には、個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって、

- ①国土の保全、水源かん養等安全で快適な国民生活の確保を重視する「水土保持林」
- ②貴重な自然環境の保全、国民と自然とのふれあいの場の利用を重視する「森林と人との共生林」
- ③木材の持続的な生産を重視する「資源の循環利用林」

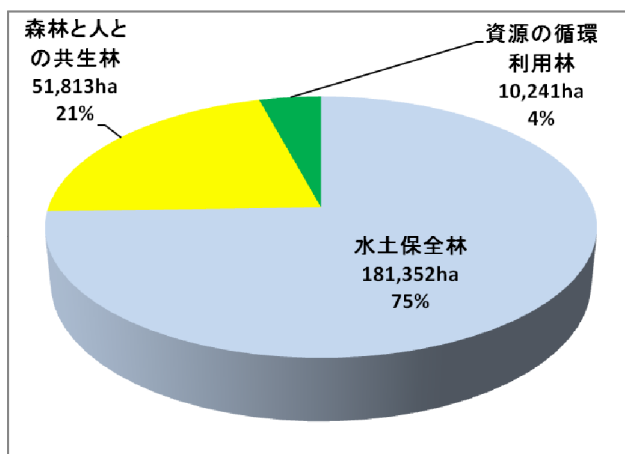
の3つに区分し、それぞれの目的に応じた管理経営を行うこととしています。

## 2 重視する機能に応じた管理経営の推進

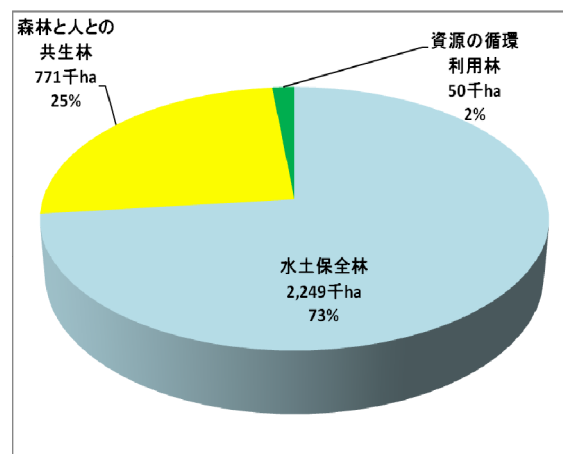
本計画区では、「水土保持林」が約18万1千ha（計画区内の国有林野全体の75%）、「森林と人との共生林」が約5万2千ha（同21%）、「資源の循環利用林」が約1万ha（同4%）となっています。

### 【機能類型別面積】

【網走東部森林計画区】



【北海道国有林】



### (1) 水土保持林

水土保持林は、その目的によって「国土保全タイプ」と「水源かん養タイプ」に細分しています。

「国土保全タイプ」の森林においては、土砂崩れ、土砂の流出等の山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に、間伐等の施業を行います。

また、「水源かん養タイプ」の森林においては、湧水や洪水の緩和等を目的に、施業を行います。

### (2) 森林と人との共生林

「森林と人との共生林」は、その目的によって「自然維持タイプ」と「森林空間利用タイプ」に細分しています。

「自然維持タイプ」の森林においては、特に原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林を対象に保護林（33箇所）を設定しています。

また、「森林空間利用タイプ」の森林においては、地域の皆さんに森林浴や野外スポーツなどの活動を通じて森林とのふれあいを体験していただく「レクリエーションの森」（29箇所）や「ふれあいの森」（5箇所）を設定しています。

### (3) 資源の循環利用林

「資源の循環利用林」では、国民生活に必要な木材を安定的かつ効率的に供給することを目的に、木材の生産目標に応じ適切な施業を実施しています。

## 3 流域管理システムの推進

流域管理の一層の推進を図る観点から、道、市町村、林業・木材産業関係団体等と連携した流域管理の取組、自然や森林に関わりをもつ民間団体や企業等との連携を推進しています。

### ◎ 「オホーツクの森」の森林整備

「オホーツクの森」の針葉樹人工林を広葉樹も含む多様性に富んだ森林に再生するため、地元自治体、ボランティア団体の皆さんらとともに「オホーツクの森自然再生モデル事業検討委員会」を設置し、その結果を踏まえたモニタリング調査を行うとともに、市民の皆さんと植樹をはじめとした森づくり体験を行い、森林再生に取り組んでいます。



カミネッコン植樹の様子  
カミネッコン：段ボールでできた一種の植木鉢



#### 4 主要事業について

本計画区における、伐採、植林等の更新、下刈り等の保育、施業に必要な林道の開設等の各事業量（現行計画の5年間分）は以下のとおりです。

##### ①伐採量

	主 伐	間 伐	合 計
材 積	252,181m <sup>3</sup>	994,280m <sup>3</sup>	1,246,461 m <sup>3</sup>
面 積		13,089ha	

##### ②更新量

	人工造林	天然更新	合 計
面 積	459h a	4,432ha	4,891ha

##### ③保育量

	下刈	つる切り・除伐	合 計
面 積	14,190ha	3,412ha	17,602ha

##### ④林道事業量

	開 設	改 良
(箇所数)	(64箇所)	(96箇所)
延 長	62.8 k m	52.5 k m



## 5 国有林の保護に向けた活動

### (1) 森林保全に係る林野巡視の強化

林野巡視に当たっては、野生生物の生息・生育状況、森林病虫害や鳥獣害の発生状況、廃棄物の不法投棄の状況、各種標識の設置状況を把握し適切な措置を行うなど、国有林野の保全管理に努めています。

また、平成18年度より世界自然遺産に登録された知床半島において、グリーン・サポート・スタッフを5名配置し、登山道の巡視や簡易な修繕、危険箇所の表示とともに入林者へのマナー指導等を行っています。



チラシを配布するグリーン・サポート・スタッフ(左側)

### (2) 知床世界遺産の保全と管理

知床半島は平成17年7月に世界自然遺産に登録され、貴重な自然環境を維持するために「知床世界自然遺産地域連絡会議」を通じて、環境省、北海道、関係市町村地元の魚業協同組合などの関係団体の皆さんと十分に意見調整などを行い、保全・管理を進めています。

#### ◎ 自然環境に配慮した治山ダムへの改良

知床世界遺産地域内の河川工作物を防災機能の維持にも配慮しつつ、サケ科魚類がそ上しやすくするため、治山ダムの改良工事（スリット開放、ダムの高さの切り下げ）を行いました。



工事前の様子



工事後の様子



## 6 国民参加の森林づくりの推進

### (1) 風景林内の森林等の整備

網走中部森林管理署（置戸町）では、地域住民の皆さんなどの保健休養の場として広く利用されている鹿の子沢風景林の整備を図っています。



平成20年と21年の10月には、公募に応じた一般町民の方々及び巨木「三本桂」保護協議会の会員が参加して、遊歩道を散策しながら、風景林内のゴミの清掃や樹名板の設置を行いました。

会員による樹木板の設置状況

### (2) 北海道との育樹祭の共催

平成20年9月に、北海道との共催により斜里町ウトロにおいて「森林のつどい2008育樹祭」を開催され、100名を超える地域住民の皆さんが参加し、トドマツ人工林の間伐を行い、森林づくりの大切さなどを参加者の皆さんに理解していただきました。



間伐作業の様子

### (3) ふれあいの森

国民の皆さんが自主的に参加し、植栽、保育等の森林整備を行いながら、森林・林業に関する理解を深めていただく活動を支援するため、各種団体との協定による「ふれあいの森」を設定しています。

対象地（林小班）	名 称	面積 (ha)
網走中部森林管理署 2286の、2288う1	オホーツクふれあいの森	1.94
網走南部森林管理署 117た1	オホーツクふれあいの森	1.81
網走南部森林管理署 356お1	網走南部森林管理署ふれあいの森	3.72
網走南部森林管理署 101と、り、よ、く、チ	網走ねいちゃあいんふおめいしよ んの森	44.09